

別 記

様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年 5月 13日

(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県東近江市御園町90

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
株式会社KSオークラ
代表取締役 十川 義輝

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	株式会社KSオークラ 代表取締役 十川 義輝
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県東近江市御園町90

1 事業者の概要

事業所の名称	株式会社KSオークラ					
事業所の所在地	滋賀県東近江市御園町90					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	8	2	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 プラスチックフィルム製造業
事業の概要	ポリエチレンフィルムの製造					
従業員の数	108	人	操業時間	24	時間/日	
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	49	台
	コンプレッサ	12	台	空気調和設備	116	台
				照明設備	1187	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2022	年度	報告対象年度	2023	年度
	終了 年度	2024	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

大倉工業グループ環境行動指針

【環境経営】

大倉工業グループの環境マネジメントシステムを確立し、全員参加で環境保全活動に取り組みます。

【環境負荷低減】

環境法令を順守しつつ、省資源、省エネルギー、廃棄物の減量化・リサイクル、汚染の防止に努めることにより、気候変動対策の推進によるカーボンニュートラル達成及び生物多様性・生態系の保護に貢献します。

【環境貢献】

環境に配慮した企画・開発を行い、より環境に貢献する製品やサービスの提供に努めます。

【エコカルチャー】

教育・啓発を通して、社員一人ひとりが環境の重要性を認識し、自発的に環境保全活動を行なう文化を創出します。

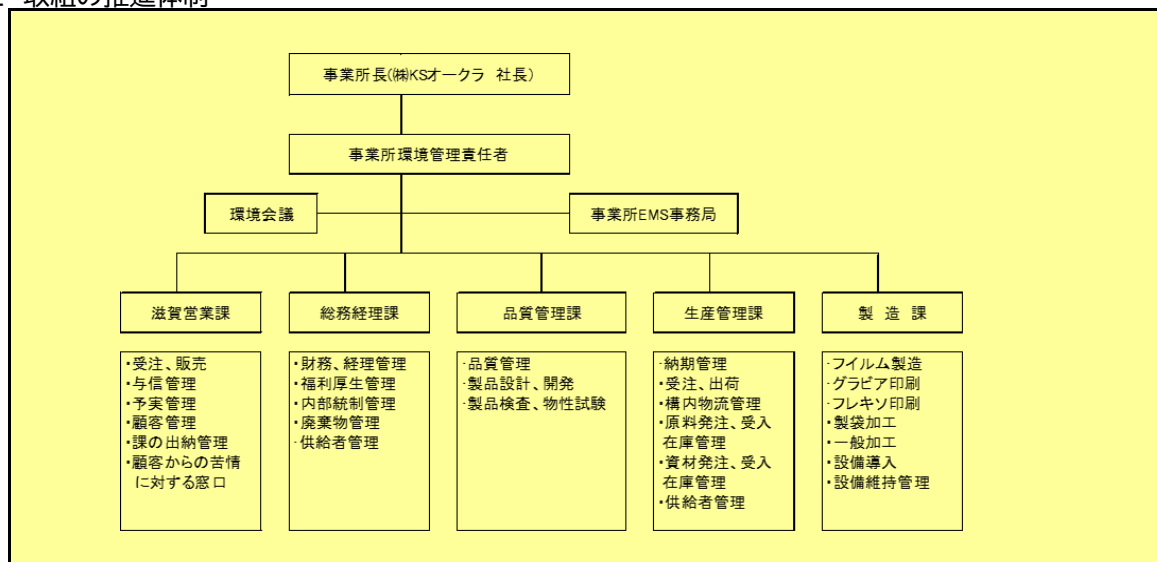
【安全衛生】

安全を経営の根幹とし、社員一人ひとりが健康で快適に働くことができる職場作りと、万一の災害時に地域や社会に対する影響を最小限にとどめる保安防災体制の確立に努めます。

【環境コミュニケーション】

環境に関する情報を正確かつ継続的に開示するとともに、各ステークホルダーからの評価や意見を尊重し、環境保全活動に生かしていきます。

2 取組の推進体制

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

電力原単位削減のために省エネ活動に取り組んだ。

○工場の製造現場・倉庫・出荷場の水銀灯をLEDに更新した。

○外灯を水銀灯からLEDに変更した。

○水冷パッケージエアコンにタイマーを取付してコンプレッサーを間欠運転にした。

○エア配管を更新しコンプレッサーの稼働数を削減した。

○食堂、事務所、更衣室等の照明をLEDに変更した。

○食堂前通路の照明をセンサー式LEDに変更した。

○ロス率を削減した。

○工場全体のインフレ機を集約化し、熱源である機械設備を削減した。

○在庫を削減し、無駄な生産を抑えた。

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	高効率なパッケージエアコンへの更新(包装梱包場)	2022年	2022年
2	設備導入	高効率なパッケージエアコンへの更新(製袋工場)	2022年	2022年
3	設備導入	第2・第6変電所改修	2022年	2022年
4	設備導入	第1変電所改修	2023年	2024年3月工事完了
5	設備導入	2H10号機押出機・S/C導入	2024年	

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
上記(1)の取組等により、2021年度を基準年度とし、以下の数値目標の達成を目指します。 原単位（CO₂排出量／生産量）で毎年1%削減 なお、原単位の考え方は次のとおりです。 温室効果ガス(CO₂)排出量は製品の生産量に大きく影響を受けるため、生産量を原単位の指標(分母)として設定しました。なお、実績を目標と適切に対比させるため、計画期間中の各年度の温室効果ガス(CO₂)排出量の算定に当たっては、電気のコ₂排出係数(電力原単位)は基準年度の係数に固定して算出します。 2021年度の原単位:0.2973	2023年度の実績原単位は0.2448となった。 結果は2023年度は基準年に対し17.7%の削減となり、目標達成となった。 生産ロス率が基準年と比較し改善したことが原単位の削減に寄与し、その他の設備導入や太陽光発電が1年間寄与しCO₂の削減に繋がった。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	3,618	3,503	5,662			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	5,232	4,186	4,927			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	5,232	4,186	4,927			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.2973	0.2485	0.2448			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	太陽光発電導入	2023年	2023年2月より稼働
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	太陽光発電導入に伴う付帯工事
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	472.5 kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	83,567	524,224			
上記のうち自家消費量	kWh	0	83,567	524,224			